

活動報告

- 活動日時：2023年5月28日(日) 9:30~15:30
- プログラム名：カブトムシの森 クヌギの伐倒と草刈り
- 目的：クヌギの萌芽更新
- 活動場所：カブトムシの森A地区、C地区
- 参加者：16名
- 活動概要：A地区（A班：直径30cmと24cmのクヌギ伐採、B班：直径27cmと27cmのクヌギの伐採）C地区C班草刈り

■活動内容：天気も曇りで、やや蒸し暑かったですが、快適な作業日よりでした。カブ森A地区で2班に分かれクヌギの伐倒、C地区で草刈りを行いました。

A地区では、危険防止のため、作業領域にはいる遊歩道をカラーコーンとカラーバーを使い、立入制限の看板をつけました。直径30cm弱、高さ20m前後のクヌギ4本を伐倒しました。A班は、直径30cmとかなり大きいクヌギだったため、受口切りに手こずり、午前中いっぱいかかりました。

午後は、体験参加者も加わって、追い口切りを行いました。想定外にくさびを入れる前に伐倒方向に倒れました。2本目は、やや細い木でしたので、1本目より楽に目標の方向に倒しました。その後、遊歩道にかかったため、チェーンソーで遊歩道沿いの木は除きました。

B班は、A地区西側の舗装道路沿いのクヌギ2本に取り組みました。ABURAYAMAFUKUOKAができてから、油山牧場側からの来園者が多く、たくさんのギャラリーが伐倒作業を見学されていました。生木の伐倒作業を見ることはほとんどないと思われ、木が倒れて地響きになると、拍手歓声があがりました。2本目は、舗装道路側に重心があり、反対側に倒す必要があるため、ロープを3本つなぎ、ロープを引っ張り、引き倒すことにより、目標通りの方向に倒すことができました。

一方、C地区の草刈り班は、午前中、残す植物の説明を行い、いろいろな植物があることを皆で確認しました。その後、草刈りを行いました。選択的草刈りは、慣れない人にとっては、かなり難しそうでした。新しい駐車場の下部のススキ、コガクウツギなどを刈りとり、クヌギの萌芽枝も一部除き、すっきりさせることができました。

本日は、体験参加者もあり、刈り払い機なしでの作業としましたが、C地区全体の手鎌で草刈りをするのは困難でした。



〈今回の作業メンバーです。新緑がきれいな時期です。〉



〈作業前後の道具の確認や作業の手順確認をしています。〉